

リウマチ・膠原病内科 での 研修について教えてください。

当科ではリウマチ・膠原病の高い専門性を持った指導医が1対1のチーム体制で専攻医の指導にあたっています。一般的には稀な疾患というイメージのある膠原病ですが、当施設には県内外を問わず、多くの膠原病の患者さんが受診されており、多くの症例との出会い・診療を通じてリウマチ・膠原病の確かな知識と実地診療能力を身に着けることができます。

また、リウマチ・膠原病は診断するまでの難しさも特徴です。診断未確定の困難症例として紹介される症例の中には、悪性リンパ腫などの腫瘍性疾患や、一見には膠原病と見間違えてしまう様な感染症等、リウマチ・膠原病に限らない様々なケースが混じっています。こういったバリエーション豊富な診断困難症例と日常的に向き合う中で、リウマチ・膠原病だけではなく、generalistとしての確かな実力を培うことができます。

当科にはリウマチ・膠原病の専門医だけでなく、膠原病診療に欠かせない腎病理のspecialistや北陸では稀少な感染症専門医、また基礎研究の視点からも困難症例と向き合うresearcherなど多様な指導医が在籍しています。

リウマチ・膠原病診療に興味のある方、不明熱などの困難症例診療に興味のある方、またgeneralistを目指しているけれどもどの様に研修を積みれば良いのか迷っている方は是非、一度見学にお越しください。



リウマチ・膠原病内科 助教
水島 伊知郎 先生